

ご視聴の皆さまへ

- 配信動画および資料の著作権は、横浜市リハビリテーション事業団が保有します。
- 動画および資料の無断転載、複製、転用、販売等の二次利用は、固く禁じます。
- この配信動画は、当センター利用者の保護者の方のみ視聴可能です。
- 第三者に動画および付属資料の URL を拡散することはお控えください。

基礎講座
「療育ってなあに！？」
①幼児期の子育てで大切に思うこと

横浜市西部地域療育センター
保育士



基礎講座「「療育」ってなあに」 1部「幼児期の子育てで大切に思うこと」
西部地域療育センター 保育士がお話をします。

療育とは…

個々の発達の状態や障害特性に応じて

社会生活の適応に向けて支援すること

～子どもの「特性」を

変えることではない～

まずはじめに、療育とはなんでしょうか。

療育とはお子さんひとりひとりの発達の状態や障害の特性に応じて、社会生活が過ごしやすくなる支援のことです。

お子さんが生まれ持っている特性を変えることはありません。

凸凹のあるお子さんによくみられる「特性」

- 耳よりも目 
- 人よりも物・活動
- 情報の整理が苦手
- 過去を覚えるのは得意、
未来を予測するのは苦手
- 興味のツボがユニークで狭い
- 感情のコントロールが困難
- 感覚のアンバランスさ

抽象的な物事の
理解が苦手

お子さんの特性とはどのようなことでしょうか。

凸凹のあるお子さんは多くのお子さんと違う見方や感じ方をしていると思われます。

「耳よりも目」「人よりも物・活動」「情報の整理が苦手」とありますが、私たちが直感で判断している、抽象的な物事の理解が難しく、具体的なことがわかりやすいといった特性があります。



たとえば「ちょっと」の長さってどのくらいでしょうか？

幼稚園の園庭で先生が「ちょっと待ってて」と言って縄跳びを取りに行ったとします。

そのときの「ちょっと」はどのくらいでしょうか？

きっと1分から2分、3分経ってしまうと、みんなソワソワしてしまうかもしれませんね。

でも薬局の受付で「今日はちょっとお待ちいただきます」と言われたときに、1分、2分と思うでしょうか？

薬局での「ちょっと」は30分はかかるかな～と覚悟を決めるのではないかと思います。

このように「ちょっと」という長さに何分という決まりはありませんが、多くの人はその時々で状況で直観で判断しているので大きく困ることはありません。

特性を持っている方は…

直観で判断できることは
直観で判断することは難しい

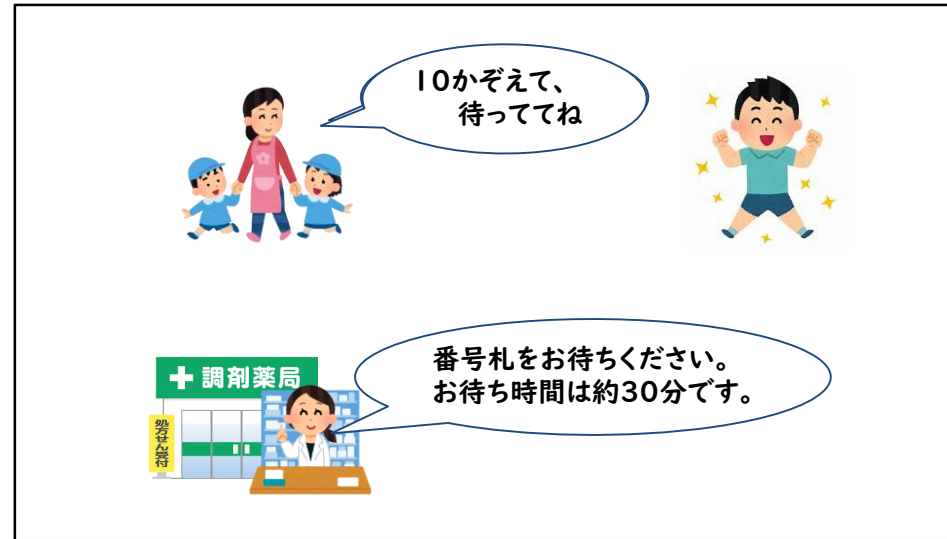
療育



でも、特性を持っている方はこのように状況に応じて直観で判断することが難しいようです。そのため生活上、困ってしまうことがあります。

そこで、「療育」の考え方が登場するのですが…

療育では直観で判断できるようにすることはできないのですが
生活上、困らないようにすることはできるかもしれません。



例えば、幼稚園の先生が「10数えて待っててね」と具体的に待つ時間の長さをお子さんにもわかるように伝えたとします。そのように待つ時間を具体的にしてもらえれば、みんなと一緒に待つことはできると思います。また、最近の薬局では長い時間待つときは番号札を渡されたり、待ち時間を具体的に教えてくれたりしますね。こうして抽象的なことを具体化してもらえると特性を持つ方でもイライラしないで待つことができるのです。

なんのためにするの？ 

子どもは「育つ」ということ…

「育ちやすさ」は
子どもによってさまざま…

育ちのペースや育つ道筋もさまざま…

では、なんのために「療育」をするのか…ということですが、
それはお子さんは「育つ力」を持っているからです。
ひとりひとりの育ちやすさも育ちのペースも道筋も違います。
ですので、ひとりひとりにあわせた関り、「療育」が必要と考えます。

植物の育ちを例に考えてみると…



ちょっと植物の育ちを例に考えてみましょう。ここに3つのお花の種があります。

植物の育て方を調べてみたら…

< ● の育て方>

- ①日当たりの良い場所に種をまきましょう。
- ②水は、1日1回たっぷりあげましょう。

< ∴ の育て方>

- ①植木鉢に種をまき室内に置きましょう。
- ②水は、土が乾いたらあげましょう。

< ▲ の育て方>

- ①植木鉢に種をまき室内に置きましょう。
- ②水は、毎日土が湿る程度あげましょう。
- ③昼間は日当たりの良い場所へ出しましょう。

まず、赤い種ですが、この種は日当たりの良い場所を好みお水も毎日たっぷり必要です。次に、小さい種は、お部屋の中を好み、お水はあまり必要ありません。そして、三角の種はお部屋の中で日当たりの良いところを好み、お水はほどほどに...といったところでしょうか。

それぞれの種に適した環境で 育ててみたら…



- *種の種類によって、必要な環境は違います。
- *その種に合う環境を用意してあげると
すてきな花を咲かせます。
- *種自体の素質を変えることはできません…

種によって、必要な環境はずいぶん違いがありますね。

でもその種にあった育て方をすればきれいなお花が咲きますね。

小さい種と三角の種はちょっと手間がかかりそうですが、種がこちらの都合に合わせてくれることはないですので、必要な育て方をしないときれいなお花は咲きません。

子育ては植物のように
いけないけれど…



子どもは「育つ」ということ…

「育ちやすさ」は
子どもによってさまざま…

育ちのペースや育つ道筋もさまざま…

子育ては、お花のようにはいかないかもしれません。

今は、SNSでなんでもすぐに調べることができますので育児書に書かれている一般的な発達段階と比べて焦りを感じることも多いと思います。

でもお子さんの育ちはそれぞれです。ペースも道筋もそれぞれです。みんな「育つ力」は持っていますので、お子さんの特性に合わせた子育てを考えていきましょう。

大切なことは…

自分の子どものことを知ること

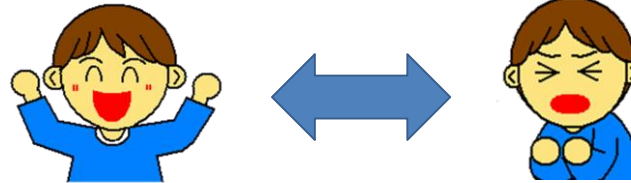
どんなことが「得意」で、
どんなことが「苦手」なのか…
どんなことを考え、どう感じているのか…
なにがわかって、なにがわからないのか…

子どもの特性にあった 働きかけをすること

大切なことは、まずはお子さんの特性を理解することです。
どんなことが得意でどんなことが苦手なのか…どんなことがわかっていてどんなことがわかっていないのか。
そうしたお子さんの特性を理解したうえで必要な働きかけをしていくことが大切であると考えます。

感情面は行動に影響します…

ポジティブな感情 ↔ ネガティブな感情



さまざまな活動に対する
意欲になり、正のエネルギー
として後押ししてくれます。

さまざまな活動に取り組む
ブレーキとなり、
負のエネルギーとなります。

また感情面は行動に影響します。

ポジティブな感情は様々な活動に対する意欲になって「やってみよう」と背中を押してくれる力になります。

反対にネガティブな感情は様々な活動のブレーキとなって「やりたくない」といった行動につながりやすいと考えます。

子どもたちの「わかった!」 「できた!」「楽しい!」を 大切にすること…

子どもたちがどんなことを考え、
どう感じているのかを知ること。
そして、ポジティブな感情を持ち生活
できるよう環境を整えることで、主体的
に行動する力や自己肯定感の土台が
育つと考えています。



ですので私たちは子どもたちの「わかった」「できた」「楽しい」を大切にしたいと考えます。
そのためには、子どもたちがどんなことを考え、どのように感じているのかを知ること。
そして、ポジティブな感情を持って生活できるように環境を整えることで、主体的に行動する力や自己肯定感が育つと考えています。

療育の目標は… 

特性を活かしながら
社会参加できる。

その子らしい楽しい毎日が
送れるようになる。

療育の目標は、個々の特性を生かしながら社会参加ができること。
そして、その子らしい楽しい毎日が送れるようになることを考えています。

幼児期の今は、お子さんのいろいろな姿と一緒に確認しながら焦らずに子育てができればいいですね。
これで「療育ってなあに？ 1部～幼児期の子育てで大切に思うこと～」を終わります。
2部では「子どもへの関わり方」について、日々の生活場面の「お片付け」を通してお話します。ぜひご覧ください。

基礎講座

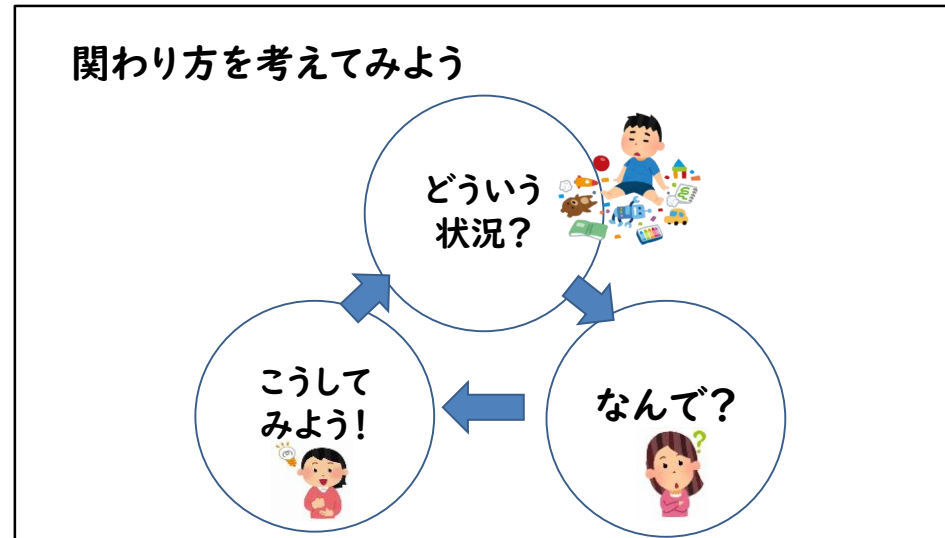
「療育ってなあに！？」

②子どもへの関わり方 ～お片付けを通して～

横浜市西部地域療育センター
保育士



基礎講座「療育ってなあに？！」 2部「子どもへの関わり方～お片付けを通して～」
保育士がお話をします



1部では「療育とは?」「幼児期の子育てで大事にしていること」についてお話をしました。

2部では、子どもへの関わり方について、日常生活の「お片付け」の場面を例に具体的にお話します。

はじめに、私たちが子どもたちに関わる時に大切にしている考え方を話します

日常生活の中で子どもたちは色々な姿を見せてくれます。

まずは、「どういふ状況なのか」「子どもの行動」をみること。

色々なことが起こるので慌ててしまいがちですが、できるだけ冷静に一步引いて状況が見れるとよいと思います。

それから「なんで?」という視点で「その状況や子どもの行動の理由」を考えます。

そして、その理由に合わせて「こうしてみよう!」と関わり方を考え、実際に関わります。

「どういふ状況?」「なんで?」「こうしてみよう!」という3つのポイントは日々の生活のどの場面においても大事なポイントになると思います。

ここから、日々の生活の中での「お片付け」の場面を例に

「子どもへの関わり方」を3つのポイントに沿って見ていきましょう。

「お片付けができない」
「切り替えができない」…



日々の生活の中で、
遊びを終わらせて、ご飯にしたいのだけれど、なかなか遊びから切り替われないことや
おもちゃのお片付けを伝えても、なかなかやってもらえない…
というご相談を受ける事があります。

このような時、どのように考えればよいのか
その理由と対応について考えていきます

どんな状況ですか？

- ◇何度声をかけても、片付けない
- ◇今やっていることがやめられない
- ◇気持ちをコントロールできない
- ◇片づけることがめんどくさい…と言う
などなど

お子さんがお片付けや、遊びからの切り替えが難しい時は
どのような状況なのでしょう。

その状況について一緒に考えてみたいと思います。

- ◇何度も「お片付けしてね」と声をかけても、片付けられない
- ◇今やっている遊びが、なかなかやめられない
- ◇遊びたい気持ちと終わりにしなければならない…という気持ちのコントロールが難しい
- ◇片付けることが『めんどくさい…』 など、

今やっている事からの、切り替えが難しい理由は、いくつか考えられます。

なんで、できないのかな？
どうしたらいいのかな？



このような状況の中で・・・

なんで、できないのか？

どうしたらいいのか？

と感じていらっしゃる方も多いと思います。

実は、その状況や理由によって、お子さんへの関わり方は異なってきます。

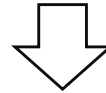
それでは

それぞれの理由について、一つずつ考えて見ましょう。

どうしたらいいの？ その1？



◇何度声をかけても、片づけない



その理由を
考えよう！

“お片付け”や“終わり”という意味が
分からないのかもしれません。

どうしたらいいの？ その1

『何度もお片付けしてね！』

と声掛けをしても、片付けられない、その理由について、考えて見ましょう。

もしかすると、「お遊びはおしまい。お片付けしてね」の声掛けの意味や
伝えられている意図が分からないのかもしれません。

このように伝えている意図がお子さんにうまく伝わり難い時の対応のポイントは

「おもちゃを片付けてね」と、言葉がけだけで、伝えようとするのではなく、
目で見て『片付けをする』という状況が分かるように示すことが必要です

対応方法・かかわり方のポイント①

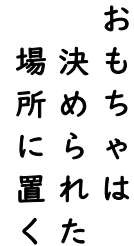


例えば・・・

「お片付けBOX」という、何を入れても良い！という箱を用意することで、この箱が出てきたら、『終わり』と言う事が理解できたり箱に“入れる”という動作が、『遊びの終わり』を伝える意味にしていきます

つまりお子さんに声掛けをすると同時に、何をすれば良いのか...と言うことを『箱で見せる』という方法や箱におもちゃを『入れる』という動作で、『終わり』を伝える。という対応が考えられます。

◇写真や絵カードなどで物の位置を決める



写真にもあるように、
棚やカゴを使って、どこに片付ければ良いのかを示し、
さらにおもちゃの所在を、写真や絵カードを張り付けることで、
分かり易く伝える事ができ、見た目もスッキリして、気持ち良くお片付けができるように伝えていきます。
おしまいの箱や棚・カゴなどを使用することで、
片付けの意味や意図を、声掛けと合わせて
目からも情報として伝えることができ、
『片付けをする』という動作や
『遊びが終わりになる』という意味を伝えられることができます。

どうしたらいいの？ その2 ?



- ◇気持ちをコントロールできない
- ◇今やっていることがやめられない



その理由を
考えよう！

- ◇次のやることが分からず
不安に思っているのかも？
- ◇時間の流れに気づきにくいのかも？

次にどうしたらいいの その2です

お片付けをしなければならない...と言う事は分かってはいるけれど...

◇なかなか今やっている遊びが、やめられない

◇遊びたい気持ちをコントロールできず、遊びがやめられない。』

と言うについて理由を考えてみましょう。

その理由として考えられることは

遊びを終わらせた後、次に何をやるのかが分からず、不安に思っているのかもしれません。

また時間の流れに気づかず、突然終わりを伝えられて困惑しているのかもしれません。

対応方法・関わり方のポイント①



見通しが持てる関わりをしましょう。

◇見通しが持ちやすい伝え方

お片付けしたら
ごはんだよ



10数えたら
おしまいだよ



このような状況には、どのような対応方法が考えられるでしょう。

ポイントは

いつ遊びが終わるのか『見通しが持ちやすい伝え方』をすることです。

例えば...

『お片付けをしたら、ご飯をたべようね』と次に何をするのかを、具体的に伝えたり、

『10数えたらお終しまいね』と、どのくらいで終わりになるのかを伝えるなど、

終わりの見通しを具体的に伝えることで、安心して終わらせられるような対応の工夫があると良いですね。

対応方法・関わり方のポイント②💡

見通しが持てる関わりをしましょう。

◇スケジュールやタイマー・時計の活用



二つ目のポイントは

『“いつまであそべるのか”』と言う、時間の経過を
見える形で伝える方法です。

例えば...

タイマーを使うと、 残りの時間が数字でカウントされ、タイマーで『終わり』を知らせてくれます

★最近では終わりを知らせてくれるだけでなく、「終わりまでの時間の量」を目で見てわかる形で伝えてくれるタイマーもあるようです。

時計が読めないお子さんいらっしゃると思いますが、数字が大好きなお子さんはいます。

お家にある時計とおもちゃの時計を使って、針のさす数字の位置を合わせることで、終わりの時間を知らせます。

④最後にスケジュールです。

1日の過ごし方を絵カードや写真などを使って、1日の流れを見て確認することで、

次に何をするのかがわかり、予測できることで切り替えもしやすく、次の行動に移りやすい状況を作ります。

このように、『見えない時間の経過や流れに見える形』で共有することによって、

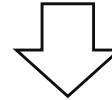
終わりの時間を知ることができ、

安心して遊んでいられたり、終わりが予測でることで、切り替えもスムーズに行う事ができるようになります。

どうしたらいいの？ その3 ?



◇片付けることがめんどくさい…と言う



その理由を
考えよう！

◇「片づける」ことは誰でも好きではない
◇片づける量が多すぎる？

どうしたらいいの その3です

だれでもお片付けは、なるべくだったら、やりたくないこと。
そしてめんどうなことなので、進んで取り組むのも、難しい行動です。

ではなぜ、めんどうだと感じるのでしょうか。

その理由は

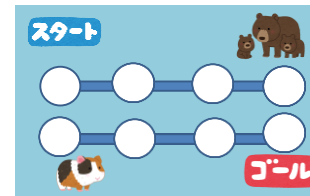
片付はそもそも興味を持てる活動ではないため、好きな活動にはなりにくいことや、
片付ける分量も、多いとうんざり…などど、
片づける動機に大きく影響してきたりしますね。

対応方法・関わり方のポイント



片付けにモチベーションを持たせましょう。

◇「ごほうび」を上手につかう



がんばった
ね！



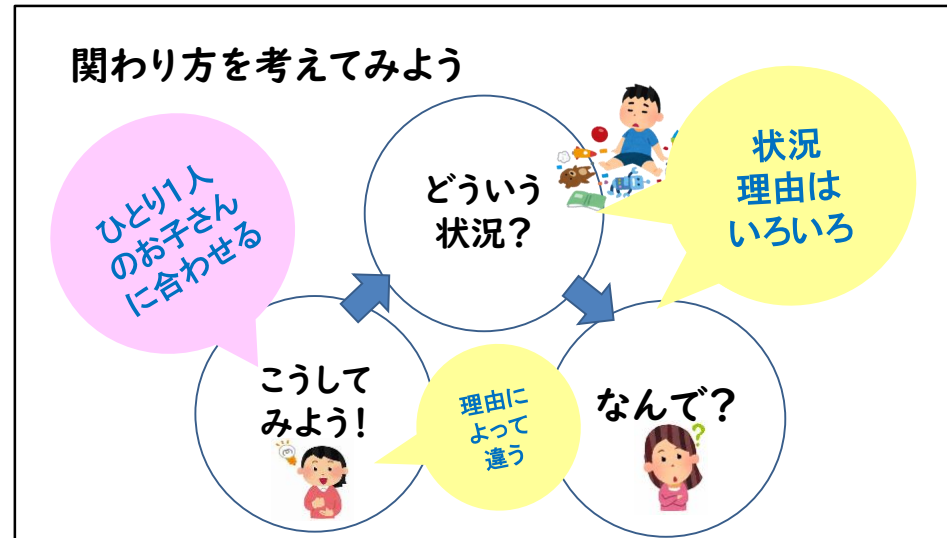
このような状況に、どのような対応方法が考えられるでしょう。

お片付けしたくなるようなモチベーションを、お子さんに持ってもらう事です。
例えば、沢山片付けるものがある場合は、保護者の方と一緒に取り組んでもらい、
『お母さんは電車の片付け係り。』
『〇〇くんは自動車のお片付け係りでお願いします！』と役割分担をして
一緒に取り組む事で、少しでも楽しくお片付けに取り組む方法です。

ど～してもやりたくないお子さんには、最後の1個を箱に入れてもらうのも良いでしょう。

モチベーションを上げるために、ごほうびカードなどを使って、頑張っている行動を目に見える形で示すことで
ポイントがたまっただなんて、達成感が持てるよう工夫すると、やりたい！という意欲があげられるかもしれません。

最後に、お片付けを頑張ったら、頑張った行動をしっかりとほめてあげて、お片付けができた事を自信に繋げて
次回もがんばろう！という想いに繋げていくことも大切なことです。



最後に、はじめにお話したスライドの復習です。

お子さんへの関わり方を考える時には

「どういう状況?」「なんで?」「こうしてみよう!」の3つのポイントでお子さんへの関わり方を考えていくこと

状況や理由は色々あり、関わり方は「理由によって違う」、つまり「一人ひとりのお子さんに合わせる」ということがお子さんへ関わる時に大切な考え方になります。

これからのこといろいろ…

どうぞよろしくお願いします



色々なお話をしましたが

お子さんとの日々の生活、色々なことが起こることがありますね。

お子さんも年齢的に小さかったり、経験もまだまだ少ないため

時には私たち大人が想像しないようなびっくりするような行動が見られることもあります。

お母さんやお父さん等、周りの大人が色々工夫して関わってもうまくいかないこともあるかもしれません。

西部地域療育センターには

お医者さんやソーシャルワーカー

心理の先生や保育士指導員など

「お子さんのことを一緒に考える」職員がいます。

困っていること、不安なことなど、ぜひ相談していただけたらと思います。

お母さん方のお話をお伺いしながら、色々なことを一緒に考えていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いします。